2021 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day”
イベント関連事業内容企画にあたっての主な留意点

令和３年３月

公益社団法人　日本獣医師会

動物感謝デー事務局

以下に、応募要領記載事項等に係る留意点を掲載いたします。この内容にご留意いただいた上で、企画案の作成をお願いいたします。

1　事業において実施する市民参加型イベントの名称は「2021 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day”」とする。ただし、表示等で「World Veterinary Day」を単独で用いる場合は、定冠詞をつけ、「The World Veterinary Day」とする。

2　会場は東京都恩賜上野公園不忍池周辺エリア（水上音楽堂を含む）、開催日は令和３年 10 月２日（土）とする。

3　開催前日の会場設営は、令和３年 10 月１日に、本会及び動物愛護週間中央行事実行委員会と協議の上行うこととする。

4　開催に向けて、動物愛護週間中央行事実行委員会をはじめ関係各所との連絡調整及び会議へのオブザーバー出席を行い、今後決定する事項に従うこと。

5　出展企画やステージ企画について、本会が今後指示するものについては費用に関する事前協議を行ったうえで実施すること。

6　企画にあたり、以下の点を考慮すること。

(1) 企画内容は、ワン・ヘルスの概念を踏まえた本会活動指針「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い」に沿った企画内容とし、子供・ファミリー向け企画を含む。

(2) 雨天時の対応を考慮する。荒天等におけるイベント中止時の対応については契約時に別途定める。

(3) 来場者による獣医師体験企画、獣医師の幅広い職域を紹介するステージ企画及び最新の話題を含む市民向け普及啓発企画を実施する。

(4) ステージ企画は水上音楽堂において実施し、以下のスケジュールとする。実施にあたっては、

ステージ使用料は動物愛護週間中央行事実行委員会が負担し、司会者及び音響・照明等、人員及び資機材に要する経費は開催費に含んで本会の事業受託者が負担する。

10：00～11：00　開会式（動物感謝デーと動物愛護週間中央行事の合同開催）

11：00～16：30　ステージ企画　※このうち、動物感謝デーとして3時間（45分×3ステージ程度）の企画を実施する。

16：30～17：00　閉会式（動物感謝デーと動物愛護週間中央行事との合同開催）

(5) 展示ブース数は、50小間程度を確保する（状況により増減する）。

(6) 関連団体の出展とともに獣医学系大学の出展の場を確保し、国内の獣医学系大学が一堂に会する場としての価値をＰＲできるよう、演出・広報対策等に配慮する。（教育関連産業における広報対策や中学・高校生向けの特別チラシ配布等）

(7) 地方獣医師会の出展の場を確保する。

(8) 関連団体、獣医学系大学、地方獣医師会の出展については、展示物の運搬やブース内の施工、水、電力・ガスの供給、食品の保管対策等は主催者側が対応するものとし、委託内容に含む。

(9) 地方の特産品（乳製品含む）の販売・頒布、食品の販売・頒布に際しては、実施の可否の判断、保健所手続等の事務的サポートを行う。

(10) 一日獣医師体験教室、日本獣医学生協会企画等に用いる来場者向け景品（2,000個程度）を用意する。

(11) 生きた動物と触れ合える企画に際しては、動物愛護・動物福祉の観点から適切な実施方法をとる。

(12) 報告書の作成様式は、イベントの内容等に加え、施工、スタッフ配置、物品等の状況を含む詳細なものとする。

(13) 今後の企画検討段階における事業内容の変更又は新提案に柔軟に対応可能な開催計画とする。